

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

新年明けまして  
おめでとうございます。

澤 井 貞 子

(浪速区医師会 会長)

快晴のお正月の空に、気持ちを新たにされた方も多いと存じます。昨年は、表す漢字も「北」と、北朝鮮やトランプ大統領に振り回された一年になりました。もちろん年は明けても状況は変わらず、有事勃発もささやかれ、恐ろしい一年にならないことを祈るばかりです。ミサイル避難はさておいても、地震・津波への対策は必須です。昨年7月に防災訓練の一環で、医師会から会員へメールとFAXで連絡試行いたしました。7割以上の先生から早々に安否返答をいただき、有事に電波が届けば、ですが、連絡に活用できそうです。

さて、本年4月には診療報酬の改定があります。昨年末の2018年度予算編成ではその改定率が最大の焦点でした。保険者や経団連、財務省は、医療費抑制のためマイナス改定を、日本医師会と厚労省はプラス改定を求め、論戦となっていました。結果は、診療報酬のうち、医師や薬剤師の技術料にあたる本体部分についてはプラス0.55%、薬価でマイナス1.7%、なので全体ではマイナス1.2%、同時改定の介護報酬はプラス0.5%で決着しました。伝わるところによると、最終的には、衆院選で支援を受けた日医に配慮し横倉氏の顔を立てたいという安倍首相に麻生財務相が折れた、という政治決着だったそうです。結局、

政治で決まるなら、やはり医政に向き合っていかなければなりません。前回改定率0.49%を上回り、横倉日医会長も、今年会長4期目を目指すとか。安倍政権と同様、長期安定政権になりそうです。

2018年度診療報酬改定の基本方針(骨子案)をみますと、大きくは①地域包括ケア構築にむけ多職種連携やかかりつけ機能評価、②働き方改革、③ICT活用の遠隔医療の保険導入、④薬価制度抜本改革、といったことでしょうか。

特に今回目新しいのは、②「働き方改革」です。「医師」は法律適用例外として5年間猶予はされましたが、方向性は決まっております。医師の勤務時間(超過勤務手当の考え方)や応召義務、医師の労働時間が制限される中での病院経営など突き詰めれば医療の根幹に関わる問題です。私たちは、ドクターXのように「医師免が必要な仕事しか、致しません!」というわけにはいきません。ドクタークラーク制度など多職種へのタスクシフティング、チーム医療の推進やICTの活用など様々な取り組みがされていますが、医師の健康が確保でき、また患者への視点も忘れることのない、より良い医師の働き方改革、医療



環境を目指したいところです。

新たなもう一つは、③遠隔診療（情報通信機器を用いたオンライン診療）で、今回の診療報酬改定で初めて評価される予定です。いわゆるテレビ電話が海外とでも、スマホで無料でできる時代になり、この ICT 技術を離島や僻地の医療に利用できるということは容易に想像がつかます。現在の診療報酬では電話再診と同一点数ですが、今回、電話再診とオンライン診察を明確に区別、対面診療よりも低く設定するそうです。対面診療を補完するものとして、詳細なその適用ルールが現在中医協で検討されています。ただ在宅医療で一部起こっているように、医療をサービスととらえる異業種に悪用されないよう、運用には十分な配慮・注意が必要です。ICT はあくまでも診療の補完に過ぎず、対面診療が基本であるという姿勢は崩してはなりません。

地域では、地域包括ケアシステムを推進する事業が、行政側からも地域医師会でも次々取り組まれています。浪速区医師会も、府・市委託の在宅医療・介護連携推進事業（いわゆるコーディネーター事業）を始め、多職種連携、認知症関連など、行政や3師会とともに多数の事業を進めています。当会独自の取り組みである平成21年発足のブルーカードシステムは、浪速区内外ですでに定着しております。また一昨年11月に開始しましたAケアカード事業も、この一年で順調にその登録数が増えてきました。Aケアカードを発行された患者さんは570名を超え、そのかかりつけ機関は延べ1700以上、つまり、一人の患者さんに平均3かかりつけ機関が情報共有している、ということです。浪速区在住で、複数の医・歯・薬医療機関、訪問や介護事業所にかかりつけである患者さんであれば、カード発行ができます。今年度からは愛染橋・富永・なにわ生野病院にも本格参加していただき、かかりつけのネットワークをさらに密にしたいと思います。Aケアカードは、一人の患者さんを取り巻くかかりつけ機関がネットワークを張り、情報を交えて患者さんを支え、必要時お互い連絡が取れるようにする

システムであり、まさに地域包括ケアの多職種連携の趣旨そのものです。なにぶんデータはクラウド上にあり、見るにもインターネットに繋がる事が最低条件ですが、会員先生方には、ぜひともご活用いただき診療の一助にいただければと存じます。今年、大正区も導入予定で、区を越えて連携ができることも楽しみです。

その他、産業医、学校医、予防接種や検診事業など医師会事業は、皆さまのご協力がなければ成り立ちません。今後ともご協力とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

末筆ながら会員の皆様には、本年もご自身が健康で、医療に研修に励まれ、良いお年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 理事会報告



### ◎平成29年度12月定例理事会

日 時 平成29年12月15日(金)

午後8時～8時30分

場 所 浪速区医師会 会議室

### 協議事項

1. 平成29年度大規模地震時医療活動訓練報告会（平成30年1月20日(土)）の出席者について  
＜澤井会長＞  
府医を通して、大阪府が開催する標記報告会への出席依頼があった。

詳細は次のとおり。

日時 午後3時～概ね3時間

場所 大阪急性期・総合医療センター 講堂

協議の結果、原田理事が出席することとなった。

2. 今里休日急病診療所出務医師割当について  
＜原田理事＞

資料のとおり、出務割当の案をまとめた。

協議の結果、了承。

3. 予算委員会の日程について <木田理事>  
予算委員会の日程を決めたい。

協議の結果、2月19日<月>午後8時に決定。なお、3月19日<月>午後8時を予備日とした。

4. 税務講習会の日程について <木田理事>  
標記日程を決めたい。

協議の結果、2月7日<水>午後2時に決定。

5. その他  
なし。

講師 竹中医院副院長 竹中裕昭

出席者数 16名

担当 富永良子

(詳細 略)

3. 浪速納税協会支部長会議について  
(12月15日<金>) <木田理事>  
次第は次のとおり。

▷29年分所得税確定申告関係について  
▷その他当面の諸問題について

(詳細 略)

4. 病診連携委員会について  
(11月27日<金>) <入野理事>  
次第は次のとおり。

▷第83回病診連携委員会報告について  
▷本会と各病院の現状報告(自己紹介含む)について  
▷その他

(詳細 略)

## 報告事項

1. 第42回大阪府医師会社会保険指導者講習会について

(12月6日<水>) <徳田副会長>

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶 大阪府医師会会長 茂松茂人

▷第61回日本医師会社会保険指導者講習会 伝達講習会

座長 大阪府医師会副会長 中尾正俊

(1)「脳梗塞の超急性期治療」

講師 国立循環器病研究センター病院長  
峰松一夫

(2)「厚生労働省関係伝達」

講師 大阪府医師会理事 武本優次

(詳細 略)

2. 学術講演会について  
(11月18日<土>) <徳田副会長>

講演内容は次のとおり。

演題 性格タイプ別生活習慣病アプローチ  
と家族へのタイプ別アプローチ  
を考える

5. 宗清皇一衆議院議員講演会について  
(12月9日<土>) <福永理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

▷特別講演

演題「税と社会保障の今後について」

講師 衆議院議員 宗清皇一

▷質疑応答

▷閉会

(詳細 略)

6. その他  
なし。

## 次回理事会

平成30年1月26日<金> 午後8時～

## 2 月度学術講演会のお知らせ

2 月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成 30 年 2 月 17 日〈土〉

午後 2 時～4 時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「プライマリケアにおける上腹部症状を有する患者の診断と治療～胃食道逆流症（GERD）を中心に～」

講師：市立柏原病院 消化器内科 部長  
奥山 正嗣 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。

## 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ

明けましておめでとうございます。

昨年 4 月より開設しました在宅医療介護連携相談支援室ですが、3 人のコーディネーターで運営してきました。

何かと至らない所があると存じますが本年もご指導ご協力よろしくお願いいたします。

今月の相談件数は、2 件でした。1 件は、往診可能な在宅医を紹介して欲しいとの事例でした。もう 1 件は、他区からの相談で療養型病床のある病院を教えて欲しいとの事でした。今まで訪問させて頂いた病院から紹介をしました。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いします。

## 相談受理実績

### ■ 個別ケースに関する相談（H29. 12 月度）

① 医科	0 件
② 歯科	0 件
③ 薬局・薬剤師	0 件
④ 病院 地域連携相談室	0 件
⑤ 訪問看護	0 件
⑥ 介護支援専門員	0 件
⑦ 地域包括支援センター	1 件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0 件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0 件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	1 件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0 件
⑫ 区民	0 件
⑬ その他（ ）	0 件
合 計	2 件

### ■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	0 件
	② 訪問診療でできる医療機関に関して	1 件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	0 件
	④ 歯科に関して	0 件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0 件
	⑥ 訪問看護に関して	0 件
	⑦ 医療の手続きに関して	0 件
	⑧ その他	1 件
② 介 護	① ケアマネに関して	0 件
	② 地域包括支援センターに関して	0 件
	③ 介護事業所等に関して	0 件
	④ 介護の手続きに関して	0 件
	⑤ その他	0 件
	③ 退院支援に関して	0 件
	④ 看取りに関して	0 件
	⑤ その他（内容： ）	0 件
	合 計	2 件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室  
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル 50B

TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058

## 浪速区医師会 活動の伝言板

平成 30 年 2 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 3歳児健康診査

- 保健福祉センター  
2月22日(木)午後1時40分～3時30分  
小児科 橋村夏野子  
眼 科 吉野 成泰  
耳鼻科 大野 聡史

### 1歳6ヶ月児健康診査

- 保健福祉センター  
2月1日(木) 午後1時40分～3時30分  
有田 繁広

## BCG 接種

- 保健福祉センター  
2月15日(木) 午後2時～3時30分  
橋村夏野子・池田 良彦

## 急病診療所出務

- 中央急病診療所  
2月19日(月) 深夜22:00～30:00  
中山 博文
- 今里休日急病診療所  
2月11日(日) 10:00～17:00  
徳田 好勇・原田直己・本田 秀明



ドクターのあらゆる要望にお応えします。



**大阪府医師協同組合**  
<http://www.omca.or.jp>

[本部] 大阪市中央区上本町西 3-1-5 〒542-8580  
TEL 06-6768-2071(代) FAX 06-6768-2012

[南部出張所] 堺市堺区甲斐町東 3-2-26 堺市医師会館 1F 〒590-0953  
TEL 072-223-6081(代) FAX 072-223-5094

この他にも、さまざまな事業を展開しています。

詳しくは



## 医 業

医療機器、医療消耗品からクリニック開業支援まで、医業に関する幅広いサポートを行っています。また、豊富な経験を持つ専門家による相談会も実施。

- 医療用品通販カタログ「GooDs」
- 医療機器のリース・無金利分割販売
- 最新医療機器展示会、セミナー・実技講習会



## く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、皆様のプライベートを応援。

- JAPAN DOCTOR'S CARD
- 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ドクターズツアー・パッケージツアーの割引特典
- イベント・各種セミナーの開催



## 保 険

医業とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のラインナップをご用意しております。スケールメリットを活かした割安な掛け金で、万一の事態に備えることができます。

- 損害保険・生命保険(団体割引有)





## あとがき

藤吉 理夫

◆新年あけましておめでとうございます。

年末年始は良い天気が続き穏やかなお正月でした。年明けからインフルエンザが流行りだしています。毎週徳田先生が情報を医師会MLに発信いただき大変参考になります。ありがとうございます。

巻頭言で澤井会長は今年の診療報酬改定について、最終的に本体部分がプラス 0.55%に決着したのは衆議院選挙で支援を受けた日医に配慮し横倉会長の顔をたてたという政治決着であったとのことで、今後も医政に向き合っていかなければならないとおっしゃっています。医師会員が協力して動いて良い方向に進めていきたいですね。

◆今回の診療報酬の目玉である遠隔診療について、現時点では指導料の点数がつかないため、ソフト会社は予約料として患者さんから実費をいただくよう勧めています。患者さんにとっては少々高くても来院せずに診察を受けれて処方箋が発行されるならメリットがあると思われますが、触診や検査しないことで疾患の管理がきっちり行えなくなりそれが疾患を悪化させデメリットになる可能性があります。経営上はソフトの会社に払う費用＋カード会社（報酬はカード決済）に払う手数料を考えるとあまりメリットは無いと思われます。今回どの程度の点数がつくのか、疾患などの制限があるのかなど詳細を待ちたいです。澤井会長の仰られるように対面診療が基本という姿勢は崩してはいけないと思います。

一方以前、ある会社が行おうとしている世界中に住んでいる日本人を対象にした会員制の遠隔診療の話聞く機会がありました。世界のどこにいても日本の医者で相談ができ、必要であれば現地の信頼できる医療機関を紹介するというシステムです。これなどは

実現すれば現地にいる日本人にとっては非常に安心なシステムになりそうです。

また遠隔診療ではありませんが AI を使って、来院前に LINE のようなツールで AI が問診を行い、来院時には電子カルテに問診が入力されているといったソフトも開発されています。

今後 AI や遠隔診療には色々な可能性があると思いますが慎重に判断したいです。

◆A ケアカードについて今年から愛染橋病院、富永病院、なにわ生野病院も参加いただけるとのことで大変こころ強いです。

昨年も書きましたが、A ケアカードは医療・介護者にとって、患者さんにとって、地域社会にとって、3 方良しのええカードになると思います。使い勝手も徐々に改善されています。皆さんで更に良いカードに作っていきましょう。



## 目 次

	ページ
巻 頭 言	
新年明けましておめでとうございます	
澤井 貞子	1
理事会報告（12 月開催）	2
2 月度学術講演会のお知らせ	4
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ	4
浪速区医師会活動の伝言板	5
あとがき	6

### 【区医だより】

発行者 澤井貞子  
編集者 中村泰久 山田郁子  
印刷所 株式会社 サ ビ